

底水型及び雨水型スクエーターフは、共に雨水を最大限有効活用して芝を生育させるユニット式屋上緑化システム。

底水型スクエーターフ

人工軽量土壌を充填した315角の芝コンテナと雨水を貯める貯水トレーそして自動かん水システムから構成されている。超軽量なため既設ビルでも施工が可能。

サイズ：315^W×315^L×75^H

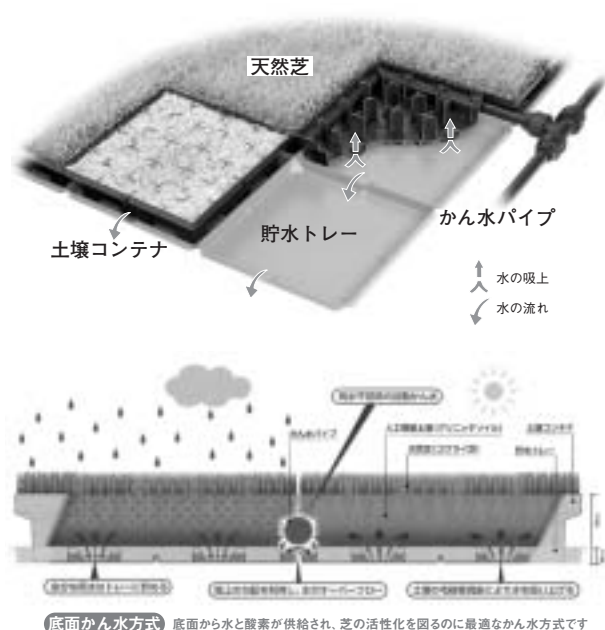
雨水型スクエーターフ

人工軽量土壌を充填した407角の芝コンテナと30日分（弊社実験結果より）の雨水を貯める貯水槽から構成されている。一年中自然降雨で芝を生育できる省管理型システムである。

サイズ：407^W×407^L×145^H



■底水型スクエーターフ



底面かん水方式 底面から水と酸素が供給され、芝の活性化を図るのに最適なかん水方式です

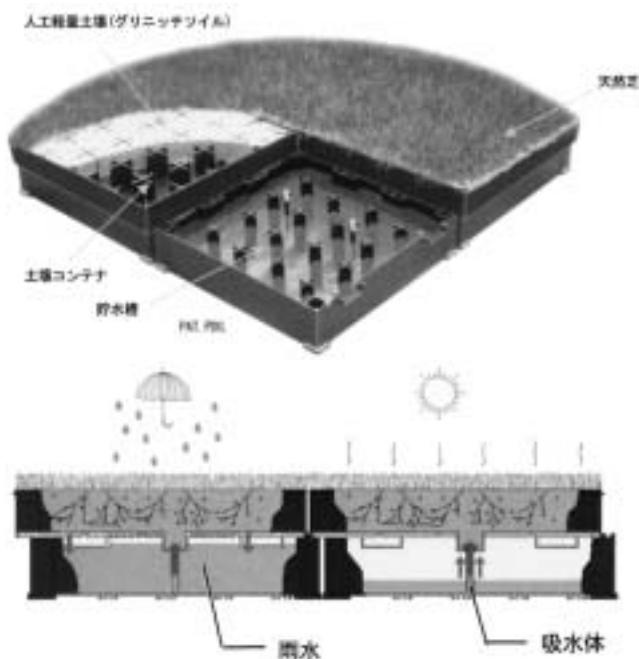
(社) 公共建築協会
品質性能評価品

グッドデザイン賞
受賞製品

<特長>

- ・かん水パイプ標準仕様
- ・芝の活性に最適な『底面かん水方式』採用
- ・湿潤時重量66kg/m²
- ・踏圧防止構造付き ・1日で約150m²の施工が可能

■雨水生育型スクエーターフ



<特長>

- ・無かん水：むだなく雨水を収集し、30日分の雨水を蓄える。
- ・軽量で薄型：45cmの自然土壌と同等の保水性能で重量は1/6、高さは1/3以下。(満水時重量125kg/m²)
- ・移設が可能：移設できるので防水工事も行える。
- ・歩行が可能：踏圧防止構造で軽歩行ができる。